

実務経験者訓練技法習得コース

[訓練期間] 約3～4か月
(46日または77日)

テクノインストラクターに必要な能力をe-ラーニングで受講し、能力審査(学科試験・実技試験)に合格することで、職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)を取得できるコースです。

民間企業等で培った実務経験を活かし、職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)取得を目指したい方にオススメです。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練指導員試験を受験することができる方 48時間講習を受講することができる方(技能検定の一級・単一級を所持する者に限る) 職業訓練において訓練を担当している方やこれから担当しようとする方 <p>このコースを利用して免許を取得する場合は、コース修了後に職業能力開発総合大学校が実施する能力審査を受検し、合格する必要があります。</p>
取得できる資格	職業訓練指導員免許(普通課程担当資格) ※能力審査合格者のみ
取得できる職業訓練指導員免許の免許職種	<p>機械科 溶接科 電子科 電気科 電気工事科 建築科 コンピュータ制御科 建設科 事務科 情報処理科 ほか</p> <p>【留意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 受講する訓練科が能力審査の検定科となります。 能力審査に合格した科の職業訓練指導員免許を取得できます。能力審査は学科試験と実技試験の両方があります。 能力審査が免除となる場合(48時間講習を受講することができる方)は、上記の免許職種に限りません。 能力審査の受検資格を満たさない場合は、職業訓練指導員免許は取得できません。受講を希望される方は、出願手続き開始の1か月前までに事前確認票又はメールフォームにて必ずご相談ください。

訓練内容

次の3種類の科目の中からお選びください。いずれの科目を受講した場合でもコース終了後、能力審査に合格することで職業訓練指導員免許が取得可能です。「職業能力開発指導演法」を受講された方は、能力審査受検時に学科試験(指導方法)が免除されます。

一日あたりの受講時間は、訓練期間が46日の場合は約3時間、77日の場合は約2時間がおおよその目安です。

- 職業能力開発指導演法

職業能力開発に関する知識を有し、若年者から高齢者まで幅広い年齢層の訓練受講者に指導することができ、PDCAサイクルによる職業訓練の運営を行うことができる能力を習得します。
- 訓練コーディネート法

企業(事業主、在職者)・求職者等の職業能力開発に対するニーズや技術動向の把握、訓練コースの設定及び既存コースの内容の見直し、企業の人材育成計画にかかわる助言等、要望に合った訓練コースの企画・立案ができる能力を習得します。
- キャリアコンサルティング法

労働者が、職業経験等に応じた職業生活設計を行うため、職業選択や職業訓練等による職業能力の効率的な習得に必要な相談や支援を行うことができる能力を習得します。

能力審査

能力審査とは、取得を希望する免許職種に関する技能や知識など、職業訓練指導員として必要な能力を持っているか審査するものです。

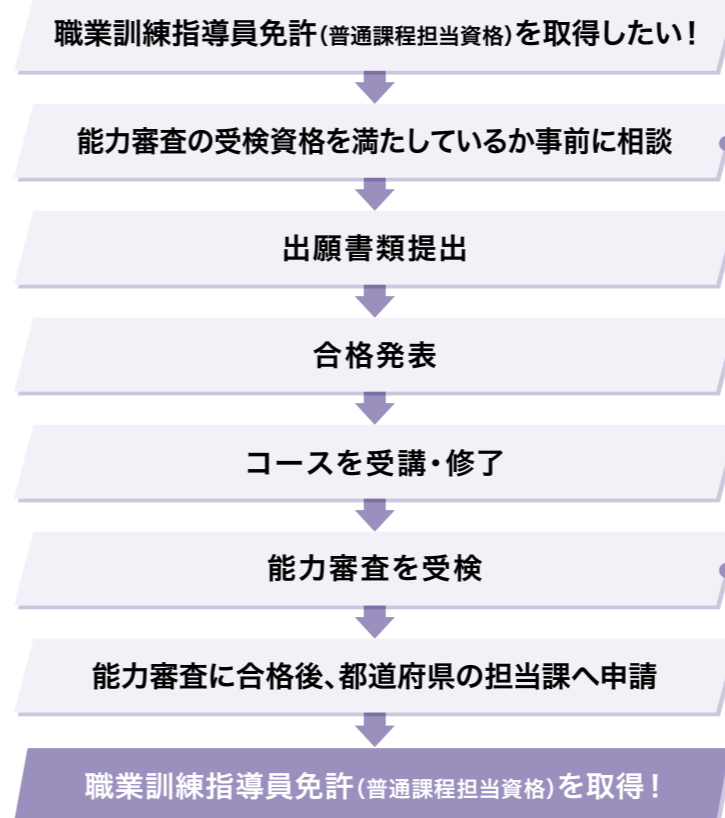
学科試験と実技試験があり、都道府県で開催される職業訓練指導員試験と同レベルの内容を出題します。

開催時期は、3月と9月の年2回です。詳しい日程は、職業能力開発総合大学校から送付される受検案内をご覧ください。

- 学科試験

関連学科(系基礎学科・専攻学科)、指導方法
(上記「訓練内容」に記載の職業能力開発指導演法を修了した方は、「指導方法」の受検が免除となります)
- 実技試験

実務経験者訓練技法習得コース受講から免許取得までの流れ



受検資格の詳細はHPでチェック!
職業大ホームページに掲載の事前確認票、もしくは専用のメールフォームにてお問い合わせください。

※能力審査の受検資格を満たさない場合、職業訓練指導員免許は取得できません。

■ 受検時期
年2回(9月または3月予定)

■ 会場
職業能力開発総合大学校

■ 試験科目
・学科試験(指導方法)
・学科試験(系基礎学科、専攻学科)
・実技試験

※「職業能力開発指導演法」を修了した方は学科試験のうち「指導方法」が免除となります。

よくある質問

- Q1** 実務経験者訓練技法習得コースはパソコンを使用して受講する Web コースとありますが、パソコンスキル等はどの程度あればよいのでしょうか?
- A1** パソコンの基本的な操作ができることが望ましいです。具体例としては、Word や Excel、PowerPointで書類を作成できること、必要書類をダウンロードして課題を作成および指定場所にアップロードできること、メールの送受信ができること等です。
- Q2** e-ラーニングで受講できるようですが、特別に受講日時を指定される授業はありますか?
- A2** 原則として、オンデマンド型の授業であるため、リアルタイムで受講する必要はありません。ただし、開講科目のうち「職業能力開発指導演法」のカリキュラムの中には、提出した課題を受講者同士で相互評価し、修正しながら課題を完成させる授業が含まれます。課題実施期間が決まっておりますが、パソコンの前に待機しておく必要はなく、定められた期間内に相互評価を終了していただければ問題ありません。詳細なスケジュールは、開講前に送付する時間割でお知らせします。
※受講者数が少ない等の場合は、受講者同士での相互評価を実施しないことがあります。
- Q3** 能力審査の過去問題や参考書籍等の情報を提供してほしいのですが。
- A3** 能力審査の問題は、過去問題も含め非公開です。能力審査は、職業訓練指導員試験の学科試験及び実技試験に合格した者と同等以上の技能及びこれに関する知識を有することを判定するものです。これは、職業訓練指導員免許に関連する実務経験や保有している資格を含め、これまでに受検者の方が培ってきたテクノインストラクターに必要な能力を総合的に判定しているものであることから、各試験科目における試験対策に類するものは作成しておりませんので、あらかじめご了承ください。

